

# しき

2010.

8



## 6月定例会から一般質問の 質問回数制限を撤廃

園児による七夕の飾り付け (いろは保育園)

平成 22 年第 1 回臨時会が 4 月 28 日(水)に開催され、7 議案を審議しました。

また、第 2 回定例会が、6 月 1 日(火)から 6 月 18 日(金)までの 18 日間の日程で開催され、市長から提出された条例、その他 9 議案及び請願 1 件、陳情 4 件を審議し、2 ページのとおりとなりました。

### ●おもな記事●

議案等一覧及び審議結果	2
一般質問・項目一覧	3～9
議会トピックス	10

## 平成 22 年第 1 回志木市議会臨時会議案等一覧及び審議結果

平成 22 年 4 月 28 日

議案等番号	件名	審議の結果	採決の状況
第 28 号議案	専決処分の承認を求めることについて (平成 21 年度志木市一般会計補正予算 (第 6 号))	原案承認	全会一致
第 29 号議案	専決処分の承認を求めることについて (志木市税条例の一部を改正する条例)	原案承認	全会一致
第 30 号議案	専決処分の承認を求めることについて (志木市都市計画税条例の一部を改正する条例)	原案承認	全会一致
第 31 号議案	専決処分の承認を求めることについて (志木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認	全会一致
第 32 号議案	志木市固定資産評価審査員の選任について	原案同意	全会一致
第 33 号議案	工事請負契約の締結について (宗岡第三小学校校舎耐震等工事)	原案可決	全会一致
第 34 号議案	工事請負契約の締結について (宗岡第四小学校校舎耐震等工事)	原案可決	全会一致

## 平成 22 年第 2 回志木市議会定例会議案等一覧及び審議結果

平成 22 年 6 月 1 日・6 月 18 日

議案等番号	件名	審議の結果	採決の状況
第 35 号議案	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案同意	全会一致
第 36 号議案	平成 22 年度志木市介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決	全会一致
第 37 号議案	志木市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第 38 号議案	志木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第 39 号議案	志木市税条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
第 40 号議案	志木市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
第 41 号議案	彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決	全会一致
第 42 号議案	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決	全会一致
第 43 号議案	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について	原案可決	全会一致
請願第 1 号	子どもの医療費無料化制度の「適用除外要件」をなくしすべての子どもが新たな助成を受けられることを求める請願	不採択	賛成多数
陳情第 4 号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	賛成多数
陳情第 5 号	人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書	趣旨採択	全会一致
陳情第 6 号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	不採択	賛成多数
陳情第 7 号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書	趣旨採択	賛成多数

# 一般質問

今定例会は、13人の議員が市政全般の事務・諸問題に対し質問をしました。

質問者は通告順 質問は主なものを掲載しています



小山 幹雄  
しきの会

## 交通安全対策について

◎**小山議員** ワイス(株)志木工場跡地の商業施設建設に伴う工事車両及び開店後の来店者の車両に対する交通安全対策について聞く。

来店者の車両が、この場所に集中し、隣接する中野下住宅街に車両が進入することが考えられ、交通規制をしなければ、交通事故につながる。

また、商業施設への搬入車両は、8時半以降とのことだが、早朝から搬入する車両が、小中学生の通学時間帯と重なり、さらに、来店者の車両は小中学生の下校時の交通安全に大きな問題となってくると思うが、これらの交通安全対策について聞く。

◎**都市整備部長** 出店する商業施設の工事車両、開店後の来店者車両、搬入車両などにより、交通量が増えることが予想されることから、法律に基づく交通協議が行われ、工事車両、開店後の搬入車両については、志木消防署前から進入させるとのことであり、工事車両は開発区域内道路を經由することを確認した。

また、開発区域内道路と既設道路の交差点については警察、事業者と市で現地立ち会いを実施し、横断歩道や停止線などの表示、信号機の設置等について要望した。来店者の車両については、1日当たり約3,000台を想定しており中野下住宅街に車両が入らないよう協議をしている。今後も警察等と連携し安全が確保されるよう適切に対応していく。

◎**教育長** 商業施設に面した道路や近隣の道路は、志木第三小学校や志木中学校の通学路であり、登下校時における交通安全対策について、各学校に対し児童・生徒への安全など登下校の指導を徹底した。

事業者にも安全確保について関係機関と連携を図り要望していく。



隣接する中野下住宅街付近の道路



永井 誠  
市政研究会

## 上下水道行政について

◎**永井議員** 下水道は、重要な社会資本であるが、経営上から見た水消化率の向上、老朽化した管路などの更新不透明水対策について聞く。

現在、水道部と下水道課は、異なる場所での仕事をしており、下水道課は下水道使用料の賦課・徴収を水道部に委託しているが、上下水道の一元は図られていない。公営企業会計方式を取入れ経営内容を常に透明化しておくことが大切である。

このため上下水道の組織や会計方式の一元化を図るべきと考え、その考えについて聞く。

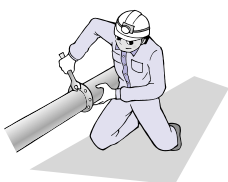
◎**都市整備部長** 志木市の公共下水道の水消化率は95・7パーセントである。

未接続は約1,200世帯であり、水消化の促進のため市内全世帯を訪問しPR活動を実施している。

当初に整備した管路は30年余りが経過しており、コンクリート管については硫化水素の影響を受けているものもある。

また、地下水の浸入や雨天時におけるマンホール等からの雨水浸入が不明水として発生しており、水量は約205万立方メートルで、金額は約6,500万円である。今後も適正な維持管理に努め、管路の延命化や改築更新など、その機能を適切に維持し、不明水対策に努めていく。

◎**市長** 県内の公共下水道事業の地方公営企業法適用状況は、埼玉県が今年度から適用し、県内の市町村では、7市が適用している。本市も、適正な時期を見きわめ、適用していく。また、上下水道の一元化については、既に上下水道の使用料については一括して徴収しており、地方公営企業法の適用は、時期をとらえ対応していく。







鈴木 潔  
しきの会

地縁による団体について

◎鈴木議員 市場町内会では、平成19年2月に町内会館が完成した。

そこで、バリアフリーに対応するため、銀行に融資を申し込んだところ、「町内会等には融資はできない」と断られた。しかし、「町内会は市長の認可を得ることにより、法人格を取得でき、町内会という団体名義で融資が受けられる」ということである。

こうしたことを受け、地方自治法が改正され、町内会など地縁による団体は、市長の認可があれば法人格を取得できるようになり、その団体名義で不動産登記ができるようになった。志木市はこの法律改正に伴う整備ができていないが整備をする考えがあるのか聞く。

また、認可申請手続きについて聞く。

◎市長 平成3年4月に地方自治法が改正がされ、地縁団体の認可制度が設けられたが20年近くたったにもかかわらず整備されていなかった。指摘を踏まえ速やかに整備していく。

◎市民生活部長 地縁による団体が市長へ認可地縁団体の申請を行うためには、地縁団体において認可申請を行う議決が必要となる。

その後、地縁による団体の長は必要書類を添えて市長に申請をする。市長は、その申請に基づき、認可の要件である地域的な共同活動など、要件に合致した場合には認可し、認可後、市長は必要な事項を告示する。認可地縁団体になると団体名義で不動産を取得することができ。

また、法律に基づいて提出を義務づけられている場合には、印鑑登録証明書や、認可地縁団体印鑑条例の制定が必要になる。



伊地知伸久  
しきの会

公共施設の耐震化計画について

◎伊地知議員 学校の耐震工事は平成23年度で終了するが、その他の公共施設については未耐震の施設が数多くあり、改修工事、建替え、それ以外にも廃止や複合施設という選択肢もある。いずれにしても大規模な工事が予想され、多額の費用が必要になる。

市民が頻繁に利用する施設が未耐震ということであり、今後の耐震化計画の策定に当たっては、市役所内部だけの検討ではなく、市民や議会と協議をしながら進めていくべきと考える。

また、橋梁は耐震工事とあわせて改修工事も考えているのか聞く。

◎市長 本市の公共施設の多くは昭和54年前後に建設され、耐震性能の不足や経年劣化が著しくなってきたことから、今後相次いで大規模な改修工事が必要と見込まれ、大きな財政負担が予想される。今年度に公共施設安心安全化計画を策定し、必要な財源を確保し、計画的かつ効果的な改修の促進に努める。

耐震化が必要な施設として、今年度

は宗岡第三小学校校舎と宗岡第四小学校校舎を、来年度は志木第四小学校校舎の耐震化及び大規模改修の実施を予定している。その他の耐震化が必要な公共施設は、市庁舎、市民会館、市民体育館などであり、大規模な改修が必要な学校施設として、宗岡第二中学校、志木第二小学校、志木第三小学校の校舎や体育館などがある。

橋梁については、志木大橋、富士見橋、高橋、袋橋、富士下橋及び宮戸橋がある。

なお、耐震化計画については、現在策定中であり、議員から意見をいただければ参考にします。



耐震化が必要な市民会館

その他の質問項目

●扶養控除の廃止・縮減による影響と子育て支援拡充について



吉川 義郎  
公明党

### 志木駅周辺の環境改善について

◎吉川議員 指導員が立っているダイエー志木店の周辺は路上に自転車をとめる人はいなくなり、人も車も通りやすくなり喜ばれているが、自転車を利用する人は駐輪場所がなくて困っているという声がある。

また、駅周辺での呼び込み、宣伝活動が、一部の市民に不安や不快感を与えている。さらに駅ロータリーのエレベーター横の市内案内表示板は、相当古くなっている。今後、新しく市内案内表示板を設置する場合は日本語表示だけでなく外国語表示も取り入れるべきなどの市民の様々な声を聞く。

◎都市整備部長 昨年度ダイエー志木店前において自転車を路上に駐車した方へのアンケート調査を実施したところ、9割以上が買い物客であるとの結果であった。買い物客の自転車駐車場については、その商店で確保されるよう指導しているところであり、新たな

自転車駐車場の整備については、現在、考えていない。

駅前広場に設置してある市内案内表示板は、既に10年が経過し、維持管理にも費用が発生しており、他の案内板もあることから表示板そのものの設置について総合的に判断する。

なお、外国語表示については、現在、考えていない。

◎民生生活部長 志木駅周辺の呼び込みやチラシ配り等については、埼玉県条例に基づき、不当な客引き行為に対しては警察と連携をとっていく。



その他の質問項目

- リストラされた方への助成について
- 子ども手当について



磯野 晶子  
公明党

### 水道管の耐震化について

◎磯野議員 志木市は昨年、水道事業を開始してから50年を迎え、さらに安全で安心な水道水の供給を目的として、大規模地震にも耐えられるよう、

大原浄水場、宗岡浄水場の全面改修や水道管、配水枝管の耐震化を進め、宗岡浄水場ナンバー2配水池が竣工し、災害、渇水時の給水が確保できるようになった。

また、宗岡浄水場ナンバー1の配水池も今年度から3年計画で改修工事を行うと聞いている。

埼玉県生活衛生課では、主要水道管基幹管路の全面耐震化については、市町村に相当の費用がかかるうえ、物理的にも無理であり、国が補助を行っても整備の速度が極端に上がることはない」と指摘しているが、志木市の主要水道管基幹管路の耐震化の状況と今後の取組み、整備方法について聞く。

◎水道部長 施設の耐震化等を踏まえた整備手法としては、浄水場施設整備を重視し、これまでに大原浄水場と宗岡浄水場の全面改修を行ってきた。浄

水場施設の耐震化率は、浄水場100パーセント、配水池75パーセントと高いレベルとなっている。

管の施設については、基幹管路では震度6強程度に耐えられるものは、平成21年3月時点で約17パーセント、配水枝管では震度5程度に耐えられるものは約85パーセントとなっている。

今後の施設の耐震化については、平成23年度に石綿管更新事業が終了する予定であり、資金計画を踏まえて、基幹管路耐震化促進に向けた取組みを計画的に進めていく。



宗岡浄水場

その他の質問項目

- 街路灯や防犯灯の電気料金支払いについて
- 音声コード普及について



山崎 東吉  
民主党

志木市の雇用政策について

◎山崎議員 志木市のような地方自治体が行う労働政策には限界があるが、本市が雇用を創出しなければならぬとしたらどの分野が考えられるか。

現在、農業は高齢化と後継者難で大きな岐路に立たされている。人が生活をしていくうえで食糧は不可欠なものであり、本市は米づくりと野菜類を中心とした農業に活路を見出すべきではないか。

高齢者の雇用問題については、法律の制定を受け、政府は企業に対し65歳までの雇用を要請している。今後、本市では高齢者雇用にどのように取り組むのか。

本市でも職員の再任用制度は導入されているが、実施の実態はない。近隣市では既に実施しており、一定の成果も上がっている。職員の再任用について前向きに取り組むべきと考えるが、これらの雇用政策について聞く。

◎市長 志木市としてはでき得る限りの雇用施策を実施していく。取り組みの一つとしてジョブスポットしきを市役

所内に設置し、本年4月末現在、延べ864人の就職に結びついた。

農業を産業として育成し、雇用の増加へと結びつける取組みについては、貴重な提言として受けとめる。

また、高齢者の雇用対策については、雇用保険の助成金を活用していくのの一つの方策と考えており、高齢者の雇用、あるいは高齢者が創業した場合の助成金が得られるのであれば、それらの制度の周知などを関係各機関と連携し実施していく。

職員の再任用については、市職員の定数管理も踏まえ今後慎重に考えていく。



ジョブスポットしき



香川 武文  
しきの会

入札制度の見直しについて

◎香川議員 本市においては予定価格4,000万円以上の建設工事の場合、低入札調査基準価格を設定しているが、経済的な側面から見れば不健全な応札をしているのではないかと考えられても仕方がない事例が発生しているのが現実である。

公共調達には、適正な価格での発注を維持していく発注者の責任も重いものがあると考える。

低価格での入札が市の財政に寄与するための有効な手段との考えは否定しないが、発注した工事に品質を確保することが期待される最低制限価格の導入、さらに、地域経済が持続的に発展することができるよう、地元業者の育成という視点からも、総合評価方式の導入等を含め、入札制度の見直しと発注のあり方について聞く。

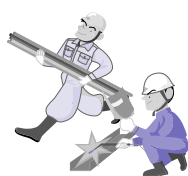
◎総務部長 入札制度については、入札及び契約の適正化の促進に関する法律や、品質確保に関する法律などに基き、入札の透明性を確保するとともに、公正な入札が図られるよう適正な

運用に努めている。

国や他の自治体も含め公共工事が減少していることから、価格競争の激化により、低入札調査基準価格を下回っての落札も出ており、過度な価格競争は品質の確保、健全な建設業のあり方からも課題があると認識をしている。

公共工事の発注については、透明性、競争性、公正性、品質の確保に十分に機能した入札制度の構築を図っていく。総合評価方式による入札は試行実施をしている。

なお、最低制限価格制度による入札の検討や市内業者育成など、他の自治体の事例も参考にし、庁内全体で検討していく。



その他の質問項目

●「脱ゆとり教育」に対する本市の見解と今後の対応等について





河野 芳徳  
しきの会

満足度の高い市民サービスをめざして

●河野議員 市政は最大のサービス業という認識に立てば、職員の一人心ひとりが心からの笑顔を持って市民と同じ目線で接することで気持ちの通った市民サービスが提供されると言える。

サービスを提供する側も受ける側も、ともに笑顔にあふれた空間を市役所という場所につくりたいと私は思う。

本市でも、あいさつをしたり笑顔で接している職員もいて、ぜひ続けるべきと思う。

◎企画部長 市民サービスを上げるには、まず職員の満足度を上げることにあるといわれる。職員の満足は、業務に対するやる気や貢献、意欲と深く結びついており、業務の効率、サービスの質にも大きな影響を与えると考える。

また、窓口サービスについても、満

足している職員だからこそ来庁されるお客様に最高の満足を提供できるものと考えている。

研修以外での具体的な市民サービスの向上策については、人事評価制度による勤務実績に基づく適正な評価や、やる気、意欲に結びつく業務目標管理制度の充実など、職員満足度を引き上げる諸整備に取り組んでいく。

また、窓口対応についてのアンケートについては、本年1月に実施した市民意識調査において市民満足度の調査を実施している。



市役所内での窓口対応

その他の質問項目

●ごみ回収について



内山 純夫  
民主党

後期基本計画策定について

●内山議員 市長の施政方針と総合振興計画の整合性とはどのようなになっているのか不明のままである。

基本構想は、地方自治法により策定を義務づけられてきたが、新しい政府は義務づけの廃止を検討し始めていますという報道があった。この基本構想の価値を志木市としてはどう考えているのか。

◎企画部長 基本構想は市の将来都市像を実現するための基本目標を明示し、地域における総合的、計画的な行政運営を図るために定めるものとされている。この基本構想を議会の議決を経ることにより、総合振興計画が策定されるものと考えている。

また、市長の公約と基本構想の優先順位があると考えているが、どちらを優先するのか。

◎企画部長 基本構想は市の将来都市像を実現するための基本目標を明示し、地域における総合的、計画的な行政運営を図るために定めるものとされている。この基本構想を議会の議決を経ることにより、総合振興計画が策定されるものと考えている。

第4次志木市総合振興計画後期基本計画は、庁内の検討委員会において原案を作成することだが、その中に有識者や市民参加が必要だと考えるがどうか聞く。

◎企画部長 基本構想は市の将来都市像を実現するための基本目標を明示し、地域における総合的、計画的な行政運営を図るために定めるものとされている。この基本構想を議会の議決を経ることにより、総合振興計画が策定されるものと考えている。

その他の質問項目

- 自治基本条例について
- 道路整備計画について
- 学習指導について



高浦 康彦  
日本共産党

ワイス(株)志木工場跡地開発  
計画について

●高浦議員 ワイス(株)志木工場跡地の開発計画に2つの店舗建設が予定されている。この開発事業に対し、隣接地域の住民約70名が市役所で、水害問題の対応策を担当課に迫った経過がある。

この地域、約100世帯の方々の水害に対する不安は非常に大きく、住民の不安を解消するための対策が必要だと思いが、行政として検討されている対策があるのか。

また、この店舗建設予定地に接する通学路や来店者が出入りする車両の交通渋滞対策、歩道の確保などの交通安全対策について聞く。

◎都市整備部長 ワイス(株)志木工場があった当時は雨水流出抑制施設はなく、雨水は直接下水道雨水管に放流されていたが、この開発計画では、5,700立方メートルの雨水貯留施設を設けることで雨水が貯留され、抑制機能が発揮されるものと考ええる。

商業施設に伴う来店者の車両については、左折で入り、左折で出ていくこととの徹底を依頼した。

また、開発区域内道路と既設の道路との交差点について、横断歩道や停止線などの表示、信号機等の設置について要望した。

歩道整備については、現状の道路幅員や周辺住宅地の現状からも難しい状況にある。

◎教育政策部長 当該箇所は、一部通学路になっていることから交通安全には万全を期するよう事業者に要請していく。学校に対しては、児童生徒への登下校時の安全に関する指導を徹底し関係機関と連携をとり、交通安全対策を図る。

その他の質問項目

●入札参加時等における遵守事項の改善について

●小規模登録業者への発注一本化について

●住宅リフォーム制度について

●就学援助の認定について

●高齢者世帯への見守りについて



水谷 利美  
日本共産党

宗岡小学校先の交差点改良  
について

●水谷議員 宗岡小学校先の交差点改良について、交通渋滞を解消するため右折帯をつくることの説明が2年前にあった。しかし、市民からは、「現在は渋滞などなくスムーズに流れている」とのことである。

今年度予算化され、用地交渉に入っていると聞いており、道路拡幅のために学校の正面からその先の交差点部分までの学校敷地が削られるということだが、学校側にある植栽は、切られるのか。

また、現在ここは、変則信号機になっており、歩行者にとっては安全な交差点になっている。今回の改良でこれを2現示信号機に見直しがされると歩行者にとっては危険な交差点になる。県はどのように考えているのか。

また、市は、県にどのような要望を出しているのか聞く。

◎都市整備部長 この交差点改良事業は、道路管理者である埼玉県朝霞県土整備事務所が進めている。この主要地方道さいたま東村山線は、都市計画道

路として計画幅員の18メートルで決定され、車両のスムーズな通行と、歩行者、自転車等の安全を優先した整備を進めている。

なお、宗岡小学校の敷地に計画決定の幅員があるのは、今回の交差点改良事業とは無関係で、昭和39年の都市計画決定の際に、計画線が引かれたものである。

また、交差点の信号機については、警察と協議中とのことである。市としては、宗岡小学校の敷地に影響がないよう、県に要望している。

その他の質問項目

●254バイパスについて

●ワイス(株)志木工場跡地の(株)長谷工コーポレーションの開発について

●柳瀬川図書館について

●宗岡第二中学校について

●国民健康保険制度について

●市民バスについて





天田いづみ  
リベラル市民2 1

高齢者が安心できる  
まちづくりについて

◎天田議員 高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）は市が委託しているのだが、実施主体は市であり、全責任は市にある。また、4月からセンターは2か所から3か所になった。

選定された受託業者は、市との調整会議の中で市の方針が示されるものと期待していたが、それは無かったとのことである。こういうことでは相談業務や地域のネットワークづくりなどの本来の業務に支障を来すと思われる。また、4月1日から給付管理に使うパソコンも準備できず、受託業者は4月中の国民健康保険団体連合会への請求は手作業で行ったとのことである。施設を増やすことが目的ではなく、高齢者、家族の方々が安心できる体制をつくるのが肝心と考える。また、西東京市では高齢者虐待予防の仕組みづくりを行っているのと聞くが、志木市の状況について聞く。

◎健康福祉部長 高齢者あんしん相談センターの増設に当たり、業務引き継

ぎがスムーズに行われるよう、2月から調整会議を5回実施してきた。特に見守りが必要な高齢者については、状況を確に引き継げるよう適切に指導した。

介護予防ケアマネジメントについては、利用者や家族に影響しないよう、段階的に引き継ぎを行えるよう調整したところであり、高齢者あんしん相談センターの設置者としての役割を果たし、地域包括ケアの推進に努めていく。高齢者の虐待と思われる相談、通報があったときは、高齢者あんしん相談センターと連絡をとり、情報収集に努め、虐待につながると判断した場合は、事実確認を行い、その結果、一時保護として、施設への入所などの対応を行っている。

仕組みづくりについては、これらの積み重ねの上でできるものと考えている。

その他の質問項目

- 水道事業について
- 入札契約制度について

（議長交際費4月～6月）

支出日	件名	支出額
4月3日	朝霞自衛隊協力会総会	5,000円
4月10日	柏町内会定期総会	3,000円
4月15日	志木市立小中学校管理職歓送迎会	7,000円
4月17日	志木市商工会青年部通常総会	5,000円
4月21日	志木市部課長会懇親会	7,000円
4月25日	いろは商店会定期総会	3,000円
5月12日	朝霞法人会志木支部総会	5,000円
5月13日	志木市商工会女性部通常総会	3,500円
5月15日	志木市美術協会定期総会	3,000円
5月15日	志木市立学校PTA連合会総会・懇親会	5,000円
5月16日	志木市町内会連合会定例総会	10,000円
5月21日	第50回通常総代会（志木市商工会）	5,000円
6月7日	第20回志木市商工会チャリティゴルフ大会	5,000円

市議会を傍聴してみませんか？

市議会は、一般に公開され、どなたでも傍聴することができます。傍聴は、市議会活動に触れることができる身近な方法ですので、ぜひ傍聴にお出かけください。傍聴席は、一般席（70席）、車いす席があります。傍聴する場合は受付で住所・氏名を記入していただきます。

※9月議会の日程（案）は、10ページに掲載しています。



◆一般質問の質問回数制限が撤廃されました◆

志木市議会では、平成22年3月定例会まで、議員から執行部への一般質問回数は、1項目につき3回までとされてきました。しかし、より活発な議論を展開する観点などから、議会運営委員会による議会改革の検討結果により、平成22年6月定例会から、質問回数制限を撤廃しました。質問回数制限が撤廃されたことにより、今まで以上に、より活発な議論が行われました。

永年勤続表彰

議会トピックス



伊地知伸久議員



香川武文議員



磯野晶子議員



鈴木 潔議員



全国市議会議長会の定期総会において、磯野晶子議員が、在職10年以上の表彰の栄に浴され、表彰状が伝達されました。全国市議会議長会、埼玉県市議会議長会の定期総会において、香川武文議員、伊地知伸久議員が、在職10年以上の表彰の栄に浴され、表彰状が伝達されました。

全国市議会議長会、埼玉県市議会議長会の定期総会において、鈴木潔議員が議長在職4年以上の表彰の栄に浴され、併せて感謝状が贈呈されました。また、埼玉県市議会第5区議長会定期総会において、感謝状が贈呈されました。

平成22年第3回（9月）定例会のお知らせ

※日程は予定であり、変更になることがあります

月 日	会議の内容
9月1日(水)	開 会 会期の決定 議案の上げ・説明
9月2日(木)	議案調査日
9月3日(金)	議案調査日
9月6日(月)	総括質疑
9月7日(火)	議案調査日
9月8日(水)	議案調査日
9月9日(木)	常任委員会
9月10日(金)	常任委員会
9月13日(月)	常任委員会
9月14日(火)	常任委員会
9月15日(水)	議案調査日
9月16日(木)	議案調査日
9月17日(金)	本会議 一般質問
9月21日(火)	本会議 一般質問
9月22日(水)	本会議 一般質問
9月24日(金)	議案調査日
9月27日(月)	議案調査日
9月28日(火)	常任委員長報告 質疑・討論・採決 閉 会

この日に正式に会期が決定されます。提案された議案について、市長から提案理由などの説明があります。

初日に上程された議案について、総括的な質疑を行い、その後、議案を所管の委員会に付託します。

本議会から委員会に付託された議案の審査を行います。

市政全般について、各議員が執行部（市）に質問を行います。

各委員会での審査結果の報告と報告に対する質疑及び討論・採決を行います。

志木市公式ホームページ

<http://www.city.shiki.lg.jp/> の上部グリーンのメニューバー「市議会」の中に「会議録の閲覧・検索」（会議録検索システム）を開設しています。ご覧ください。

発行年月日 / 平成 22 年 8 月 1 日  
 発 行 / 志木市議会  
 〒 353-0002  
 埼玉県志木市中宗岡 1-1-1  
 TEL 048-473-1111 FAX 048-471-7091  
 編 集 / 議会だより編集委員会



会議録は市役所 1 階市政情報コーナーや市内各図書館・公民館図書室でも閲覧できます。  
 本号に掲載した定例会の会議録発行・会議録検索システムの更新は8月上旬の予定です。